

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.03.19~03.30

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

*記事は東京発行・最終版

CHINA

3月19日(月)

中国の半導体、存在感じわり
「世界の工場」着々と半導体産業で、中国がじわじわと存在感を高めている。大手半導体メーカーが相次いで進出するほか、地場の受託製造企業も台頭。家電などと同じく「世界の工場」を確立しつつある。(8面)

岐阜セラツク、江蘇省に工場
コーティング材用添加剤/現地生産
岐阜セラツク製造所は、江蘇省南通市に各種コーティング材用添加剤の工場を12月に稼働する。同社初の海外工場で、6月着工。20億円投資。日本からの輸出を現地生産に切り替える。(11面)

3月20日(火)

中国から統合承認
新日鉄・住金/全て取得
新日本製鉄と住友金属工業は、中国の独占禁止法当局から両社の経営統合を無条件で承認する審査決定通知を受け取った。事前審査が必要な日本と約10カ国・地域の当局の承認を全て得た。(3面)

テルモ、中国で腹膜透析事業
最大手の山東威高と合併
テルモは、中国で腹膜透析事業を開始する。中国医療機器最大手の山東威高集団医用高分子製品股分と今秋に折半出資の合併会社。2021年にはシェア25%、売上高400億円を目指す。(9面)

3月22日(木)

北京で廃車リサイクル
豊田通商/2020年4.5倍に
N E D Oは、豊田通商と北京市で使用済み自動車をリサイクルする実証実験を始めた。2020年に中国のE L Vが4.5倍に増加すると予測。四川省では地元企業と合併会社を設立する。(7面)



韓国を訪問したオバマ米大統領は北朝鮮との軍事境界線のある板門店の非武装地帯(D M Z)を視察した(3月25日=ブルームバーグ)

3月23日(金)

日立造船、大連に新会社
水処理装置/ナガオカと共同
日立造船は、提携しているナガオカと、大連市にプロセス機器や水処理装置などの製造会社を設立する。ナガオカの水処理装置、日立造船の石油精製・化学合成用プロセス機器を生産。(9面)

信越化学、レアアース合金生産
年3000トン/福建省で来年
信越化学工業は、福建省で2013年1月からレアアース磁石用合金の生産を始める。磁石の中間原料のレアアース鉄ボロン合金の生産能力は年3000トン。輸出規制対象外の合金で日本へ。(16面)

D I C、年1万2000トン増強
アクリル樹脂・ウレタン樹脂など
D I Cは、合成樹脂などを生産する江蘇省の子会社を増設する。アクリル樹脂とウレタン樹脂、金属せっけんの合計で年1万2000トンの生産能力を増強。華東や華北での需要増加に迅速対応。(16面)

3月26日(月)

天津にA T新工場
アイシンA W/年産能力40万台
アイシン・エイ・ダブリュは、2014年

末の稼働をめどに、天津市に自動変速機(A T)工場を新設する。前輪駆動(F F)車用6速A Tを生産し、年産能力は約40万台。中国3カ所目の工場。(8面)

広東省のモデル企業に認定
三菱レイヨン/中国グループ会社
三菱レイヨンは、中国グループ会社の惠州惠菱化成が、広東省人民政府から「労働関係和諧モデル企業」に認定された。従業員を尊重し、調和のとれた労使関係が評価された。(18面)

3月27日(火)

地域の名称、中国での保護検討
農水省が研究会
農林水産省は、「地理的表示保護制度研究会」の初会合を開いた。中国で「讃岐うどん」などの名称が勝手に使われるなど地域名保護が問題になり、日本の事情に合った保護制度を検討。(2面)

シャープ、複合機を増産
江蘇省に新工場/年65万台
シャープは、中国工場の複写機や複合機の生産能力を約1.6倍の年65万台に増強する。約25億円を投じて江蘇省に新工場を建設、4月に稼働する。中国でのカラー機への需要増加に対応。(13面)

の海外受注は初めて。(9面)

3月26日(月)

インドネシアで焼結部品を生産
住友電工/自動車向け
住友電気工業は、インドネシアで自動車のエンジンや変速機向け焼結部品の生産を2012年度に始める。自動車関連の現地企業グループとの合併で4月に西ジャワ州に製造販売会社を設立。(18面)

インドで海水淡水化プロ
アジア最大/日立など
日立製作所、伊藤忠商事などは、インド・グジャラート州で海水淡水化プロジェクトの共同開発契約を現地企業と結んだ。アジア最大の海水淡水化プラントを建設、工業団地に水を売る。(21面)

3月27日(火)

F A事業、中国・東南ア増強
パナソニック/売上高2000億円
パナソニックは、F A事業の売上高を2000億円以上に2015年度までに拡大する。中国や東南アジアなどで生産、販売体制を増強、アフリカや中央アジアなどの新興市場を開拓する。(3面)

マンマの金融システム調査
大和総研・N T Tデータ・富士通
大和総研とN T Tデータ、富士通は、3社の共同事業体として、国際協力機構との間で「マンマ金融システム近代化に関する情報収集・確認調査」に関する業務実施契約を結んだ。(15面)

三菱ガス化、韓国でP O M増産
年産能力33%増、14万トン
三菱ガス化学は、40%を出資する韓国エンジニアリングプラスチックスで、ポリアセタール(P O M)の年産能力を33%増の14万トンに増強する。蔚山工場に年産3万5000トンの設備を稼働。(17面)

3月28日(水)

シャープ、鴻海と提携
大型液晶の供給先確保/筆頭株主に
シャープは、電子機器製造受託サービス(E M S)最大手の台湾・鴻海精密工業と資本・業務提携する。大型液晶事業の安定化につなげる。出資比率が議決権ベースで約10%で筆頭株主に。(1面)

J F E、ベトナムに製鉄所
高炉一貫、年350万トン/事業化調査
J F Eスチールは、台湾大手鉄鋼メーカーの義聯集団がベトナムで計画中の高炉一貫製鉄所プロジェクトに主導権を取り参画する前提で事業化調査に入る。第1期は粗鋼能力が年350万トン。(2面)

3月28日(水)

中小専用の工業団地が開業
1000㎡サイズの賃貸
日本の中小企業専用の工業団地「南海日本中小企業工業園区」が開業した。トヨタ自動車など自動車メーカーの工場に近く、中小企業からニーズの高い1000平方メートルサイズの賃貸工場を提供。(2面)

新潟原動機、船用エンジン受注
東南造船廠から/ズラナード一括
新潟原動機は、福建省東南造船廠から作業船8隻分の船用中速ディーゼルエンジン計12台、360度全旋回Z型推進装置(Zペラ)計16台を一括受注した。受注金額は約18億円。(6面)

コスモ石油、園芸用液肥を拡販
中国などに進出/国内は家庭向け
コスモ石油は、国内外で園芸用液体肥料の増販に乗り出す。海外は施設園芸など業務用で、従来の蘭、伊に加え、中国などに本格進出する。国内では家庭向けの商品構成を刷新する。(14面)

3月29日(木)

大豊工業、バイメタル企業買収
中国トップメーカー/現地調達
大豊工業は、自動車エンジン用軸受素材であるバイメタルの中国トップメーカー「常州恒業軸瓦材料」を買収する。山東省に軸受工場があり、現地調達に切り替えコスト競争力を上げる。(6面)

日立、成都に新工場
昇降機/年8000台
日立製作所は、成都に昇降機の新工場を建設する。中国内陸部の需要増大に対応する。2013年3月稼働予定。当初の生産台数は年間5000台。これを2015年度に8000台に引き上げる計画。(12面)

3月30日(金)

上海に技術サービス拠点
機械工具/京セラが開設
京セラは、上海市に機械工具の技術サービス拠点「上海テクニカルセンター」を新設した。国内では滋賀八日市工場から野洲工場に移転し「関西テクニカルセンター」として業務を始めた。(9面)

3月29日(木)

佐川、ベトナム拠点網を拡充
ハノイ近郊に新保税倉庫
佐川グローバルロジスティクスは、ベトナムで拠点網や提供サービスを拡充。同国3カ所目の保税倉庫をハノイ市近郊に。保険会社の代理店業務も。ハノイなどで始めた宅配便の地域を拡大。(1面)

クボタとアクアの事業選定
アジア水環境改善実証/環境省
環境省は、2012年度にアジアで実施する水環境改善の実証試験について、クボタとアクアが提案した2件の事業を選定した。アジアの水ビジネス市場への進出を後押しする。(17面)

3月30日(金)

横浜ゴム、デリーに新工場
乗用車用タイヤ年70万本
横浜ゴムは、インドのデリー近郊に乗用車用タイヤ工場を建設する。2014年7月稼働。年産能力は70万本。投資額は約44億円。需要を見極めながら段階的に生産量を増やす。(8面)

神鋼、シンガポールで統括
A S E A Nの溶接材料事業
神戸製鋼所は、溶接材料事業でシンガポール法人にA S E A N地域の統括機能を置くことを明確化し、「コペルコ・ウェルディング・アジア・パシフィック(K W A P)」に社名変更する。(19面)

TELOP

マレーシアに車用品店
G 7ホールディング(20日5面)

セーレン、タイに新工場
スポーツ・ファッション衣料(20日8面)

丸太食品、タイ合併工場が完成
ハム・ソーセージ・総菜(20日9面)

世界戦略コンパクト車、タイ投入
三菱自(21日4面)

マンダム、インドに販社
営業力・流通を強化(22日17面)

リフリック、バンコクに営業所
冷凍・空調を開拓(22日30面)

タイに樹脂製品の販社
ダイセルポリマー(23日16面)

台湾にドラッグストア「トモズ」
住友商事/3店舗(23日21面)

タイの定温倉庫が稼働
鴻池運輸/4温度帯に対応(23日21面)

韓国モアテックを子会社化
ミネベア(26日10面)

川重、シールド掘進機5基受注
シンガポール地下鉄(29日7面)

Y K T、内陸部に進出
電子部品実装装置/ E M Sが移動
Y K Tは、電子部品実装装置の販売・サービス拠点である上海現地法人「微科帝(上海)国際貿易」の支店を年内にも内陸部に新設する。重慶か成都が候補地。E M Sが内陸部に移動に対応。(11面)

日立キャピタル、中国内陸部進出
リース取扱高3倍目指す
日立キャピタルは、中国における事業展開を拡大する。アジアの収益の大半を占める同国内陸部へ進出、リース需要を開拓。20億円(約262億円)取扱高を2015年3月末までに3倍以上に。(29面)

TELOP

中央製作所、上海に現法
表面処理装置(19日7面)

中国事業統括会社が営業開始
S B I/大連市(20日11面)

豊田合成、張家港市で植樹会
2万7000本/2300人参加(22日7面)

江蘇政取重工にライセンス
舵取機など/三菱重工(22日8面)

東海エレ、上海を増員
5倍・50人(22日11面)

太平洋工業、天津などに現法
現地事業を統括(23日7面)

建機合併の工場完成
コベルコクレーンが式典(27日10面)

ピーエスビー、中国に投入
システム運用管理ソフト(27日15面)

早川工業、プレス部品現地生産
自前で部品加工工程(27日34面)

ガスエンジン製販を供与
ダイハツディールと三井造船(29日7面)

立花エレ、香港に統括会社
海外6子会社/独立採算(29日7面)

メッキ加工会社の中国進出支援
二葉産業/運営会社と提携(29日7面)

電気化学、中国で増産
電子部品の搬送テープ(29日15面)

人民元建ての債券投資
みずほコーポ銀/邦銀初(29日21面)

今回は -
9日(月)は新聞休刊日ですので、「中国・アジア ダイジェスト」面の今回は16日(月)に掲載します。

北京の医療研修施設開業
東芝メディカルシステムズ(30日9面)

マレーシアに新会社
パナソニックエコシステムズ(30日14面)

日清紡、上海に管理会社
現法のガバナンス強化(30日19面)

出光興産、長春に潤滑油営業所
第一汽車の本拠(30日22面)

ひと

人間同士の信頼関係築け
「『中国企業は信用できない』と言うのは人間同士の信頼関係を築いていないから」と指摘するのはツルタ製作所社長の鶴田昌宏さん。10年近く中国企業と取引している。大切なのは「取引しやるという態度ではなく、相手とウィンウィンの関係を築くこと」。(19日=6面)

競争しても勝ち目ない
「中国の地場企業と競争しても勝てない」とゴミ焼却設備を手がける三菱重工環境・化学エンジニアリング社長の木村和明さん。〘価格でどう勝負するに、こう切り返す。カギは運搬。〙中国企業は競合ではなく協業企業。関係を築いて中国、世界を席巻したい」。(21日=6面)

環境保全の市場を開拓
「東日本震災の被災地で環境プロセス機器の受注が伸びた」と振り返るのは東亜ディーケーケー社長の佐々木輝男さん。国内の次は中国市場だ。「提携先の米企業の環境関連測定器を、中国で拡販する。環境保全の市場を開拓したい」と意欲を燃やす。(26日=10面)

マレーシア・ペナンに出張所
三菱東京U F 〓銀行(29日21面)

湯原製作所、タイに生産子会社
パイプ加工品(28日5面)

シンガポールに統括会社
テルモ(28日25面)

日本の省エネ政策学ぶ
インドネシア若手官僚(30日1面)

スリランカでホテル参入
セレスティア(30日3面)

タイで115cc新型スクーター
ヤマハ発(30日8面)

鴻池運輸、インドに現法
インド近隣との国際業務(30日27面)

ひと

アジアが主戦場
「『出展効果は予想以上』と笑顔のベストテック社長の鬼頭誠さん。『日本よりも海外で受注を期待できる』と、開発中の小型無人飛行機をシンガポールの航空宇宙展に出展した。約100枚用意した名刺をすべて交換『民間無人機の主戦場はアジア』との確信を強めた。〙(20日=6面)

おしゃれにアピール
「インドネシアの常食である『大豆テンペル』は、ハイビスカスの葉にいた菌を使った発酵食品だ、とおしゃれにアピールしたい」と明治大学発ベンチャー、テンペストフーズ社長の入海健さん。クッキーやパンに混ぜ『若い女性向けのカフェにも展開を』と思索。(22日=21面)

タイ洪水

復旧から増強へ - 洪水から半年
タイの自動車生産は今年
ホンダのタイ4輪車工場が3月末、半年ぶりに再稼働し、日本の自動車メーカーのタイにおける生産体制は洪水前の状態にほぼ復帰する。トヨタ自動車は生産能力の増強を決めた。(21日=4面)

ホンダ、タイ工場再開
半年ぶり/来月、通常レベルに
ホンダは、洪水で生産を停止していたタイの4輪車工場の操業を約半年ぶりに再開した。ロジャナ工業団地内の工場。生産再開の式典を31日に開く。4月中旬に通常レベルの生産に。(27日=8面)

住友金属、電磁鋼板加工が再開
まずプレス加工
住友金属工業は、洪水で操業を停止し

遅れを取り戻すぞ!
「タイの再稼働を2012年度の完全復活の象徴にしたい」と意欲をみせるのはホンダ社長の伊東孝紳さん。タイのインラック首相を招き、31日に再開式典。低価格車「ブリオ」も「ようや〜フルでつくれる。さあ遅れを取り戻すぞ」視線は完全に新年度に向いている。(23日=7面)

再びアクセル
「日本や中国のカーナビ工場で30%の増産体制だ」と力強く語るクラオン取締役の河元哲宏さん。4月にはタイの新工場が稼働する。「タイ、中国、インドの3拠点を軸にアジアを開拓する」。大震災、洪水と相次いだ災害を乗り越え、再びアクセルを踏み込む。(29日=6面)

ASIA

3月19日(月)

シンガポールにアジア統括会社
野村総研/海外事業を機動的に
野村総合研究所は、シンガポールの現地法人をアジアの現地法人を束ねる統括会社に格上げする。香港の現地法人を子会社化し業務を集約。新会社に権限を集中させ、海外事業を機動的に。(10面)

スリランカ、中小を誘致
インド輸出の生産拠点に
スリランカ投資委員会は、中小企業向けの投資優遇制度を導入した。法人税の免除対象を25万ドル(約2000万円)以上投資する企業に広げた。インド進出を狙う日系中小企業を呼び込む。(18面)

スリランカと主要国の投資コスト比較					
(単位:米ドル)	日 本	スリランカ	インド	中 国	
賃金(月額)	3,098	120	306	364	
電力料金(1kWh当たり)	0.125	0.09	0.07	0.12	
水道料金(1㎡当たり)	0.47	0.48	1.045	0.94	
事務所賃料(1㎡当たり)	39	17.4	71	114	
国内電話代(1分当たり)	0.03	0.02	0.02	0.03	
インターネット(月額)	74	14	26	18	
ジェトロの資料を基にスリランカBOI作成					

3月20日(火)

マンマ、市場開く
投資制度改正進む/税優遇延長検討
マンマが、外資誘致を促進するため大きく変わろうとしている。外国投資に関する法制度の改正を進めているほか、税金免除の期間延長も検討。透明性の高い投資環境を整える。(1面)

日産、インドネシアに追加投資
4億ドルプラス/年産能力25万台
日産自動車が、インドネシアに4億ドルを追加投資し、同国での年間生産能力を現行の10万台から25万台に引き上げる。日産のゴーン社長と大統領との会談に同席の産業相が明らかに。(時事=2面)

日興A M、M & A戦略を加速
韓国・台湾・インドネシアに照準
日興アセットマネジメントは、アジアでの営業地域拡大でM & A戦略を加速。